

2 COVER STORY : 三菱重工の針路

- 2 日本の発展を支えてきた技術
- 4 メガトレンドを成長機会に
- 6 世界で伍していくための革新
- 8 目指す企業像
- 10 取締役



我が国初の鉄製汽船「夕顔丸」

12 企業価値向上のための戦略

- 12 財務・非財務ハイライト
- 16 2015事業計画
- 18 社長メッセージ
- 24 ESGの重要課題の特定
- 26 CFOメッセージ
- 28 社外取締役メッセージ



30 事業を通じた価値創造

- 30 特集：次代の飛躍を牽引するMRJ
- 34 セグメント別ハイライト
- 36 セグメント別営業概況



MRJ (Mitsubishi Regional Jet)

44 価値創造の仕組み構築

- 44 コーポレート・ガバナンス
- 49 人材
- 50 知的財産活動・研究開発

52 会社概要

53 海外地域統括・拠点会社／海外事務所

ごあいさつ

三菱重工グループは、1884年の創立から130年以上、三菱グループの共通理念である三綱領に基づく社是を普遍の理念として、お客さま、パートナー、その他関係する皆さまや社会とともに歩んでまいりました。

明治日本の産業革命以降、常に時代に先駆けた新しいものづくりに挑戦し続け、日本の発展とともに積み上げ、受け継いできた技術力は、私たちにとって最大の資本です。この技術力を最大限に活かした製品、サービスは今、世界の人々の暮らしを支え、気候変動やエネルギー問題などの地球規模の課題解決へと役立っています。

情報開示の体系

MHIレポートには、当社をご理解いただくために重要な情報を集約して掲載しています。より詳細な情報はウェブサイトに掲載しています。

▶ <http://www.mhi.co.jp>



参考にしたガイドライン

- 国際統合報告評議会 (IIRC)
- ▶ 「国際統合報告フレームワーク」
- グローバル・リポーティング・イニシアティブ (GRI)
- ▶ 「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン(第4版 [G4])」
- 環境省
- ▶ 「環境報告ガイドライン(2012年版)」

本レポートの発行目的

三菱重工グループは、その存在価値を、「この星に、たしかな未来を」というCI (Corporate Identity) ステートメントとして掲げ、「地球と人類のサステナビリティ (持続可能性) に対し、人々に感動を与えるような技術と、ものづくりへの情熱によって、安心・安全で豊かな生活を営むことができるたしかな未来を提供していく」という強い意志をもって経営を推進しています。

この理念を株主・投資家やさまざまなステークホルダーの皆さまにご理解いただくため、2014年3月期(2013年度)より、経営戦略や業績などの財務要因と、当社グループと環境や社会との関係性などの非財務要因を一體的に伝える統合レポートとして、本レポートを発行しています。

将来の見通しに関する注意

本レポートのうち、業績見通しなどに記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績見通しにのみ依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。実際の業績はさまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

今、私たちは、日本発の真のグローバル企業への飛躍を目指し、新たなコーポレート・ガバナンスの構築を進めています。世界のステークホルダーの皆さまから信頼される企業となるべく、透明性や機動性を高めてまいります。

これからも、当社グループ一丸となって、地球と人類のサステナビリティ（持続可能性）のため、さらなる価値創造を追求し、世界で存在感のある企業に向けて挑戦してまいります。

取締役会長

大宮英明



社是

顧客第一の信念に徹し、社業を通じて社会の進歩に貢献する

誠実を旨とし、和を重んじて公私の別を明らかにする

世界的視野に立ち、経営の革新と技術の開発に努める

CSR行動指針

わたしたちは、この地球にたしかな未来を実現するために、

地球との絆

緑あふれる地球を環境技術と環境意識で守ります。

社会との絆

積極的な社会参画と、誠実な行動により、社会との信頼関係を築きます。

次世代への架け橋

夢を実現する技術で、次世代を担う人の育成に貢献します。